

対話重視、 市民が主役の市政運営

全国若手市議会議員の会 23代会長(横手市議2期)

NEXT
STAGE

奥山とよかず [41歳]



現場に光を、身近なもののこそ大切に

市民に寄り添う当たり前の市政運営を取り戻します。

地域要望に応えるための3億円

現場に十分な予算がないことによって、市民からの切実な要望に応えきれていない状態が放置され続けています。山積する地域要望に対応するために、総額3億円の予算を各地域局に配分し、生活道路や身近な施設等の補修を着実に行います。

市民の命を守るために防災行政無線の整備更新

アナログ防災行政無線の使用期限が迫っている中、地域の声を踏まえ議会の総意として市に対し再三申し入れをしてきたのにも関わらず、大きな財政負担を理由に一切聞く耳を持たず廃止することとしています。災害から市民の命を守るために、情報伝達手段として有効な防災行政無線の整備更新を行います。

地域資源を活かすための休館温泉施設の復活

公共温泉民間譲渡とその後の施設返還による休館は、雇用が守られず地域の光を消してしまう結果となりました。議決責任を痛感し深くお詫び申し上げます。この反省を踏まえ、今後は市有温泉の民間譲渡は行わず民間活力と市民協働により地域の拠点施設として有効活用し、休業中の施設については、まずは「日帰り温泉」の再開に全力を尽くします。

地域経済の基盤を支えるための低米価・新型コロナ対策

低米価対策として、今後も農業経営が持続できるような独自支援を行います。コロナ禍により疲弊する市内事業者を応援し、全市的な視点で、広く市民に行き届く経済対策を講じます。

人口が減っても、一人ひとりは豊かなまちに
みんなが支え合い助け合う和のまちに

日々地域を歩く中で、市民生活の基盤を支える身近なものへの手当てが圧倒的に不足していることを痛感しています。見栄えする新しいものに前のめりになる一方で、市民生活を置き去りにする市政が今後も続いていいのでしょうか?私は、市民に寄り添い、毎日額に汗して頑張る市民の背中をそっと押す、そんな温かい市政運営を実現することをお約束いたします。共に、未来を。

確かなビジョンと揺るぎない信念 奥山 豊和

培った経験と
人脈で
故郷を元気に

全国に500名規模の会員を有する「全国若手市議会議員の会」会長として、仲間と共に築き上げた全国ネットワークを活かすことで、この閉塞感を打破します。
共通する課題解決のために「自治体間連携」を強力に推し進め、都市と農村の交流で関係人口を増やし、横手の強みを活かした次世代に誇れるまちづくりを行います。!!

対話重視、
市民が主役の
市政運営の実現

「(仮称)広聴広報課」を設置し日常的に市民との対話の機会をつくり、政策形成過程において市民の声を十分に反映させます。
住み慣れた地域に暮らし続けていくためにはどんな手立てが必要なのか、自ら地域に入り皆さまと膝を交えて話し合い、課題解決のための施策を一から作り上げていきます。!!

1 コロナ後を見据えたこれからの産業振興

- 農業産出額をさらに押し上げる販売力の強化。
- 農地を守る受け皿となる担い手の育成。
- 設備投資・事業継承を支援し、地元企業を応援。



2 現場力の強化と市民協働による、地域の特性を活かしたまちづくり

- 現場を知る各地域局が、主体的に地域のことは地域でできる体制に。
- 町内会をはじめとする住民自治組織への日常活動支援を拡充することで、地域を元気に。



3 人口減少社会に向き合う、持続可能なまちづくり

- 若者のまちづくりへの参画を進め、横手に暮らすことの意味付けを創造する新たな事業を展開。
- 地球環境への配慮と循環型社会の実現、SDGsの推進。



4 市民の「日常」を支援し、社会全体で支える福祉政策と教育の充実

- 雪寄せ雪下ろしや移動手段の確保など、高齢者に寄り添った生活支援を拡充。
- 誰一人取り残すことのない子育て支援と、生きる力を育む学びの環境の充実。



5 将来世代に負担を先送りしない、長期的ビジョンを持った公共施設の適正配置

- 大型公共施設再配置は、利用者目線で地域バランスに配慮した整備更新を迅速に。
- 多機能体育館の建設を推進。



ご挨拶

奥山豊和後援会
会長
佐々木 義広

奥山豊和氏は、市議会議員として2期8年間市政に直接関わってきましたが、現市長のやり方に大きな疑問を持ち、このまま見過ごすことができないとの思いから自ら立ち上がりました。

しっかりした計画、説明のない場当たり市政を改め、真に市民のために対話を重視し、長期的視野に立ったまちづくりを進めるとしています。何卒よろしくお願ひいたします。

プロフィール

奥山 豊和

おくやまとよかず

- | | | |
|------|--------------|------------------|
| 所属団体 | ●横手市消防団大雄支団 | ●横手青年会議所(OB特別会員) |
| | ●JA秋田ふるさと青年部 | ●横手市陸上競技協会 |

昭和55年3月8日生まれ(41歳)／農業(家族4人で水稻約16ha)

趣味／地元産のお酒を嗜むこと、マンガ・アニメ

平成4年 阿気小学校 卒業
平成7年 大雄中学校 卒業
平成10年 大曲高校 卒業
平成14年 東北学院大学 卒業

高校・大学では陸上競技部に所属。
ハンマー投げで大曲高校3年時、県総体・東北大会優勝、'97京都インターハイに出場。



平成14年 金田勝年参議院議員秘書
(横手事務所勤務、県南担当)
平成21年 金田勝年衆議院議員秘書
(国会事務所勤務、会計や政策等を担当)
平成25年 3月、退職しUターン／10月～横手市議会議員(2期)
平成28～30年 全国若手市議会議員の会 東北ブロック代表
平成30～令和元年 全国若手市議会議員の会 会長

